

# 親子で楽しむ！ あいかわ森のようちえん 11月25日 終了報告



11月25日、冬の日帰り森のようちえんを開催しました。18家族51名の参加者にお越しいただき、冬が来つつある愛川の自然を楽しみました。午前中、受付を済ませたら、外ではじまりのつどいと緊張をほぐすためのゲームをしました。参加者の子どもたちは、聞いたことのあるメロディやリズムに合わせて体を動かします。

体と緊張がほぐれたところで、スタッフが取り出したのは薄茶色の細長いもの。「これ、見たことあるかな？」というスタッフの質問に、元気よく「サツマイモ！」という声があがりました。正解です！しかし、スーパーなどに置いてあるサツマイモは、紫色。それもそのはず、このサツマイモは掘り起こしてから土を落としていません。午後は焼き芋作りを行います。子どもたちはサツマイモを濡れ新聞で包み、アルミホイルを巻いて準備をしました。



焼き芋作りの準備ができれば、さっそく探検に出発です！あいかわ森のようちえんは、五感で自然を楽しむこともねらいのひとつ。落ち葉を踏んでその音を楽しんだり、カリンの果実を見つけて爽やかな匂いを感じたり。みかんもあったので匂いを嗅いでみましたが、子どもたちは嗅ぎなれた匂いではなかったらしく、「これほんとにみかん？」「おいしくなさそう」と疑いの目。まだ熟していませんから、少々青臭かったようです。子どもたちは拾ったものを、嬉しそうに大人に見せに来てくれました。大人と一緒に活動すると、近くで自分の子どもの反応を見ることができるので、大人の皆さんも撮影しながら見守ってくれました。



さて、栗の木広場からは別行動。大人の皆さんは焼き芋準備へ、子どもたちはさらなる探検へ。落ち葉が積もった道を抜け、坂を下り、芝生で寝ころび、自然を楽しみました。大人の皆さんはその間、自分たちの分の焼き芋を包んだり、火のおこし方を習ったり。やがて、大きな「ただいま〜！」の声とともに、子どもたちが帰ってきました。服や髪の毛に落ち葉がついていたりもしましたが、それもまた自然を楽しんだ証です。





子どもたちが探検から帰ると、時刻は 12 時。みんなでお昼ご飯にしましょう。お家から持ってきているお弁当で昼食になります。スタッフが用意したお茶セットやココアで温まりながら昼食を食べました。その後は、大人タイムで聞いたメタルマッチという道具を使って、薪に火を点けます。勢いよく燃えはじめた薪に落ち葉をかけて、焼き芋作り開始です！もくもくと上がり始めた煙に、子どもたちは大興奮。煙と戦いを始める子、煙を体いっぱい浴びようとする子、それぞれ煙を楽しみます。さあ、みんなで補充する落ち葉を集めに行きましょう！



最初の落ち葉ポイントは、落ち葉を燃やしている第 3 ファイヤー場のすぐ近く。スタッフが広げたブルーシートの上に、落ち葉を拾っては投げ入れる子どもたち。何人かは自分のビニール袋に落ち葉を集めて運び、というやり方をしていました。ブルーシートはかなり大きかったのですが、次々と落ち葉で埋まっていきます。こんもりと落ち葉の山ができたところで、スタッフから「運びよー！集まれー！」という声。ブルーシートの端っこを、みんなで持ち上げます。集めた落ち葉を全員で運び、焼き芋の焚き火に追加！また煙がもくもくと上がり始めました。では、次の落ち葉ポイントへゴー！

先ほどの落ち葉拾いよりも大量の落ち葉が集まりました。なので、キャンディー包みをして持ち運びやすいようにします。前後をスタッフが持ち、子どもたちは下から落ち葉を支えます。疲れたら落ち葉をおろしてちょっと休憩。キャンディー落ち葉はベッドになることが発覚しました。子どもたちは落ち葉ベッドに飛び込みます。



さあ、しばらく煙と戯れていると、どうやら焼き芋が焼きあがった様子。一気に 60 個ものサツマイモを焼きましたが、子どもたちがたくさん集めてくれたので、まだまだ落ち葉には余裕があります。火が通った焼き芋は、しっとり柔らかかったです。食べた子どもたちからも、「甘い！」「美味しい！」という声があがりました。落ち葉を利用することで、低温でじっくり熱が通るのです。これもまた、秋の自然ならではの味覚ですね。



最後は、おわりのつどいをして解散になります。落ち葉を触ったときの手触り、踏みしめたときの音、燃やしたときの煙の匂い、美味しい焼き芋の味、鮮やかな紅葉の色。五感で愛川ふれあいの村の冬の自然を楽しめたと思います。また、親子で多くの自然と触れ合えたことでしょう。あいかわ森のようちえんは、次回 3 月に 1 泊 2 日で開催します。また皆さんとお会いできることを楽しみにしております。 【文責：大谷】